



静波会だより

発行
和歌山県立海南高等学校
全日制海南校舎

静波会広報部

和歌山県海南市大野中651
TEL 073(482)3363
FAX 073(484)2346



「ブロックどうなった!?」くじ引きを終えて教室に帰ってきた体育委員を皆で囲んだ。2Dと1E、なんとかなるだろう。そう思っていた。体育祭当日、2Dが綱引き決勝、玉入れランナー1位、1年は学年種目ほぼ1位、そんな中で3Dだけ何もしない訳にはいかない。夏休みの文化祭準備で築き上げた強い絆はどのクラスにも負けない自信があった。大きな声援が力をくれた。なんと棒引き男女共に1位。午後の部でも良い結果、さあ結果発表。5位4位3位：もしかしてあるんじゃないか。そして1位の発表、「1位は黄ブ：」その先は聞こえなかった。痛い程のハイタッチだった。皆のおかげで最高の体育祭だった。ありがとう！



文化祭



9月15日(金)・16日(土)、文化祭が開催されました。
今年のテーマは「響力 ～響け!海高ハーモニー～」

舞台発表(1年)、展示(2年)、模擬店(3年)、有志・クラブ発表等、生徒達は準備から本番まで全力で取り組み、素晴らしい作品を作り上げました。

ありがとう 2E
夏休み前から計画をして、ずっと準備をしていました。最終ギリギリまで組み立てなどをしていたので、出来あがるか、とても不安でしたが、無事完成させることができました。いざ完成すると、すごく立派で達成感がありました。文化祭当日、たくさんの人にゲートを写真スポットとして使ってもら

うことができて、嬉しい気持ちでいっぱいでした。一般公開では小さい子もよろこんで写真を撮ってくれていたのが、本当に良かったです。文化祭までの期間、全員あつまることはなかなか難しく、個々の努力や協力からこのゲートができたと思っています。2Eのみんなに感謝です。ありがとう2E。

ギリギリ
「優秀賞は…3年C組です。」その瞬間、歓喜の声と落胆の声で僕たちのクラスは分かれた。夏休み明けに皆でコツコツ作業してきたわけではなかった僕たちのクラスは、明らかに他のクラスほど進んでいなかった。ゴミ箱すら完成していなかったが、直前になって授業を潰してまで準備をする3Cの団結

力。この団結力の強さが、私たちに優秀賞につながってくれたのだと思う。テントの設置、買い出し、下ごしらえ、どれも大変で、初めての不安もあったけれど、皆がいたからこそこまめにできた。

E組最高
私達は、夏休みから大道具などの準備に取りかかり、平日の放課後は、遅くまで劇の練習をしました。どのクラスよりも一番、準備・練習に時間を費やしました。そんな中で、野球部員が当日参加できないかも知れない!という問題が発生したり、考えたネタが

他のクラスとかぶっているなどたくさん困難がありました。その困難をみんなが、何とか解決し、のりこえることができました。結局、野球部員は当日参加することができませんでした。脚本、衣装、大道具、小道具、キャスト全部が最高でした。1E最高!

展示部門 優秀賞

「Dis2E Gate」

2年E組



最優秀賞

模擬店「ぞえラボ」

3年E組



やっぴんやっぴん
「最優秀賞はぞえラボです。」そう聞いた時、私は驚きと嬉しさと飛び上がりました。二年間一緒にE組ですが普段はどこよりも静かなクラスで、協調性もあるとは言えません。学校行事に全員が参加しただけで褒められるくらいです。でも今年は藪添先生の鬼のような庄のお陰で全員が一生懸命自分の仕事をしました。特にCM班には驚嘆しました。最優秀賞を取れたのもあの素晴らしいCMがあったからだと思います。一緒に文化委員を務めてくれた川端君、E組のみんな、藪添先生にはとても感謝しています。高校生活最後の文化祭というビッグイベントを、大好きなE組のみんなと過ごした時間は私にとって、かけがえの無い宝物です。

模擬店部門 優秀賞

「SUN SEA」

3年C組



舞台部門 優秀賞

「美女と珍獣」

1年E組



特別賞

「JAWS ~ It's a DOHI PANIC」

3年B組



沖縄修学旅行

11月8日(水)～10日(金)今年も2年生の沖縄修学旅行が実施されました。平和学習や体験学習を通し、生徒一人ひとりが大切なことを心に刻みました。また、地元の人々との交流を深め、沖縄の文化に触れることができました。



2B この修学旅行で民泊が一番心に残りました。最初はとても不安だったけれど、お世話になる方が歓迎してくれて安心しました。民家ごとに沖縄ならではの体験

2A 民泊では、色々な所に連れて行ってもらいました。特に、沖縄の海は水が透き通ってとてもきれいでした。初めての沖縄だったけどすごく楽しめました。また卒業したら行きたいです。

2A 沖縄は日本唯一陸上戦が行われた場所であり戦争中、沖縄に暮らしている人々がどのようにして生活していたのか実感することができた。戦争はとても恐ろしいということがわかった。

2D 修学旅行での一番の思い出は民泊です。初めは緊張ばかりで硬くなっていましたが、沖縄の人たちの心の

2C この修学旅行で沖縄の暗い面や明るい面の両方を一度に学ぶことができました。民泊では教科書で勉強できない島の事や生活について幅広く知ることができました。今回の旅行はとても有意義なものになって良かったです。

2C 修学旅行の民泊は初めは不安しかなかったが、いざ民泊に訪れてみると想像してたのとは真逆で民家の方々が自分たちのためにできることを時間の許す限りしてくれて忘れられない思い出を作ることができうれしかったです。

2B 民泊や国際通りなど友達との楽しい思い出で溢れていますが、三日目のガマ体験は衝撃的でした。ガマの中には想像をはるかに超える恐怖と悲しみがつまみついて、戦争時のことを自分の身で感じられた気がしました。

2B 温かさや助け合いの文化にふれて、沖縄が好きになりました。誰でも出会えば兄弟という言葉にとっても感動しました。



2D 初めて行った沖縄は、様々なことが新鮮でもとても良かったです。特に民泊では、伊江島の暮らしを直に感じる事ができました。また身近に戦争の跡や基地を目にする事で、沖縄に対する理解がより深まりました。

2E 今回の修学旅行を通して、私は戦争についてより深く知れたと感じました。学校でする学習とは全く違う現地の人達の生の声を聞けるリアルで貴重な体験でももちろんその他の体験もとても楽しく有意義な時間でした。



2E 1日目の民泊がとても楽しかった。初め、民家の人と出会って緊張したが、話をしてみるととても面白くて楽しかった。BBQや花火、トランプなどをとってからも節水しようと思っ

2E とてもしんどかった。二つ目の山が一番しんどくて、絶望を感じた。三つ目の山で、達成感があった。たどりつけなかったけど、みんなと登れたから歩けた。

2E 世界遺産である熊野古道と一緒に歩くことで、仲間との絆がより深まったと思うし、何より最後にみんなゴールできたのが良かったと思う。

今年も体感！熊野古道の素晴らしさ！

1年生 健脚遠足

恒例の1年生健脚遠足は、11月10日(金)に実施されました。絶好のハイキング日和。全員元気に学校を出発、藤白神社から湯浅駅までの熊野古道25kmを、友と語りながら仲良く楽しく元気よく歩きました。



●しんどかったです。人生の中で一番歩いたと思います。写真に笑顔で写る気力も無いぐらい死にそうでした。もう二度とあんなに歩きたくないけど何だかんだ楽しかったです。

●疲れた。もう二度と登りたくないと思った。友達と話すのは楽しかったけれど、足が痛すぎる。でも今回の体験で大抵のことは我慢すれば何とかなるものだと勇気ももらっ

●長い道のりを歩きながら、あまり話したことがない人とも楽しく話せて良かった。また、地元の世界遺産にふれることもでき、とても良い経験になったと思う。

●自然を見ながら班の仲間と励まし合いながら歩けることができてました。私が足のけがをして歩いて遅くても、みんなゆっくりでいいよと言ってくれ、いい友達だと思いました。

●とてもしんどかったです。二つ目の山が一番しんどくて、絶望を感じた。三つ目の山で、達成感があった。たどりつけなかったけど、みんなと登れたから歩けた。

●世界遺産である熊野古道と一緒に歩くことで、仲間との絆がより深まったと思うし、何より最後にみんなゴールできたのが良かったと思う。

●友達と話したり、歌を歌ったりしながら歩くのはとても楽しかったです。山はとてもきつかったし、

●峠を三つ越えるというのはこんなにも大変なことなんだと身体で感じました。長い長い坂道が続きました。心が折れてしまいうるう」が励みになりました。

●山に登るにつれて、道の険しさや道の長さにすごく歴史を感じました。また、木々に囲まれた道の中で時々見える景色はすごくきれいで、心がすがすがしくなりました。

●とてもしんどかったです。特に一個目の山を登っている時が一番しんどかったです。足も痛くて嫌だったけど、ゴールした時の達成感がすごくて、良い思い出になりました。

●健脚遠足として通った熊野古道は道とは思えない程、自然豊かで壮絶な道もありました。現在、交通機関等も発達してしま

●急な坂や長い下り道がたくさんあって、すごくしんどかったです。でも、みんなで歌を歌ったりいっしょに歩けたことができてすごく楽しかったです。



●25kmは思ったより長くて疲れました。でも、自分たちの班が一番長い時間歩いているので、班員の子とたくさん交流できてとても良い一日でした。

●みんなで協力して、励まし合い、迷いながらも歩ききれて達成感はんばなかったです。来年の1年生たちにも、この達成感を味わってもらいために続けてほしいと思います。

●健脚遠足として通った熊野古道は道とは思えない程、自然豊かで壮絶な道もありました。現在、交通機関等も発達してしま

●最後の方はフラフラしていたけど、ゴールした時すごく達成感がありました。

今年度活躍した体育クラブ

今年度活躍した文化クラブ

陸上競技部



今年度の成績

● 県総体

男子 総合3位	トラック2位
100m	2位 亀井峻矢
200m	4位 亀井峻矢
800m	3位 東本拓也
1500m	6位 東本拓也
1100mH	5位 木下啓吾
4000mH	5位 木下啓吾
3000mSC	6位 三上諒也
5000mW	優勝 小澤伊織
4x100mR	3位 (下垣内・亀井・木下・山本)
ハンマー投げ	2位 笹倉拓真
やり投げ	5位 横貫潤太
	5位 吉田航

女子 800m

3位 田中美有
5位 石本稚葉
4位 石本稚葉
5位 塩路菜葉
2位 塩路菜葉
6位 向畑涼花
5位 市場七菜

● 近畿大会

選手全員出場するも入賞なし

● 駅伝県予選

男子6位、女子5位でそろって近畿大会に出場

水泳部



今年度の成績

● 県総体

男子 100m平泳ぎ	優勝
曾根拓真(2年)	7位
井谷柘太(2年)	7位
200m平泳ぎ	4位
曾根拓真	4位
200m個人メドレー	5位
井谷柘太	5位
田伏啓吾(2年)	6位
田伏啓吾	6位
400m個人メドレー	2位
田伏啓吾	2位
女子 100m背泳ぎ	3位
東利佳(3年)	3位
200m背泳ぎ	2位
東利佳	2位
100m平泳ぎ	6位
東実花(3年)	6位
200m平泳ぎ	5位
東実花	5位

● 近畿大会

選手全員出場するも入賞なし

● 全国大会

全国春季JOC ジュニアオリンピックカップ 男子100m平泳ぎに曾根拓真 出場

軽音楽部



今年度の成績

第5回全国高等学校軽音楽コンテスト 和歌山県予選優秀賞(Rain chord) 近畿高等学校総合文化祭 (大阪大会) 出場 2017みやぎ総文 (全国高等学校総合文化祭) 参加

● 今後の目標・抱負(部長 湯子怜雅)

『みやぎ総文2017』への参加は、またとない貴重な経験で、非常に充実した時間を過ごすことができた。まずバンドの仲間意識や結束力といったものが深められたと思う。また、他校との交流や全国レベルというものを目で見て、体で感じ、考え、自分自身を見直すことができた。メンバーそれぞれに感じるものがあり、それぞれがやるべき事ややりたい事を見つけたらと思う。今回得ることができた個々の思いなどは、今後の活動に必ず活かしたい。

吹奏楽部



今年度の成績

第53回和歌山県吹奏楽コンクール 小編成部門 金賞

● 今後の目標・抱負(部長 平野萌子)

今年度の和歌山県吹奏楽コンクールでは、外部コーチの先生による指導、地域の皆様や保護者の方々の応援のおかげで、見事金賞をとることができました。惜しくも県代表としての関西大会への出場は逃しましたが、審査員の先生から褒めていただいたいい演奏ができました。これからは、代表を逃した悔しさをバネに来年度のコンクールに向け日々練習に励んでいきたいと思えます。コンクール以外にも定期演奏会や海高祭での演奏、地域からの依頼演奏等、幅広く活動していこうと考えていますので、これからも海南高校吹奏楽部をよろしくお祈り致します。

映画研究部



今年度の成績

● 県大会 第64回NHK杯 高校放送コンテスト和歌山大会 テレビドキュメント部門 第4位 (全国大会出場)

校内放送研究発表部門 第2位 (全国大会出場)

● 全国大会

第64回NHK杯 全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門 出場 校内放送研究発表部門 出場

● 今後の目標・抱負(部長 竹村新哉)

私たち映画研究部の今後の目標として海高祭での自主制作の短編ビデオやCM、エンディングビデオの制作だけでなく、秋に行われる和歌山県高等学校総合文化祭の放送部門での上位入賞を目指してがんばっています。活動内容には、本を読む「朗読」、自分の伝えたいことを記事原稿にして読む「アナウンス」、自分たちで脚本を作って撮影する「ドラマ」、今伝えたいことを取材して番組にする「ドキュメント」があります。作品の締切が近づくとピリピリした雰囲気になりますが、普段はアットホームな感じの部です。大会が終わった後などは、みんなで食事に行ったりして仲の良い部だと思います。これからもよろしくお祈り致します。

囲碁・将棋部



今年度の成績

● 県大会

第40回和歌山県高等学校将棋選手権大会夏季大会 個人戦女子の部で 2年坂口桜桃が優勝 第41回和歌山県高等学校将棋選手権大会秋季大会 個人戦女子の部で 2年坂口桜桃が準優勝 団体戦AチームBチームともに3位

● 近畿大会

第37回近畿高等学校総合文化祭 将棋部門出場(2年坂口桜桃) 会場 大阪商業大学 成績 ベスト8

● 全国大会

第41回全国高等学校総合文化祭 将棋部門出場(2年坂口桜桃) 会場 ホワイトキューブ (宮城県白石市) 成績 1勝3敗 第26回全国高等学校文化連盟 将棋新人大会出場(2年坂口桜桃) 会場 グランドホテル浜松 (静岡県浜松市)

● 今後の目標・抱負(部長 三宅渉真)

僕達囲碁・将棋部は、今年新たに1年生を4人迎えて現在12人で活動しています。今回は昨年に続き女子が個人戦で全国大会に出場しました。また、団体戦でも2チームがともに県で3位になっています。次は男女ともに全国大会に出場できるように頑張りたいです。



『缶サット』の紹介

～高校生のロケット空高く～

缶サットとは

高校生が自作したモデルロケットで自作した缶サット(空き缶サイズの模擬人工衛星)を打ち上げ、上空での放出・降下・着地の過程を通じて、技術力・創造力を競う。缶サット甲子園は今年が10回目であり、海南高校は第1回目から参加しており、全国大会にも数多く出場している。

メンバー

- 2年A組 内田 琉唯
- 2年A組 瀬藤 祐紀
- 2年A組 田伏 悠人
- 2年A組 西畑 蒼



近畿地方大会(13校参加)

日時: 7月9日(日) 9時～17時半
午前: 打上競技・午後: 事後プレゼン審査
場所: 打上競技は、コスモパーク加太
事後プレゼン審査は、イオンモール和歌山3階イオンホール

成績: 和歌山地方大会 第3位(全国大会出場)

全国大会(地方大会の上位から10校参加)

日時: 8月27日(日)～8月29日(火)
場所: 打上競技は、日本大学二和グラウンド
事後プレゼン・事後プレゼン審査は、日本大学理工学部

成績: ロケット打上と缶サット放出には成功したが、缶サットの不具合で途中で自由落下してしまい、地上回収時には分解していた。プレゼン等で頑張ったが、入賞できなかった。

感想・抱負等

私たちは缶サット甲子園2017の和歌山地方大会を勝ち抜き、全国大会に出場しました。缶サットとは、工作用紙で製作した自作ロケットに缶サット(小型衛星)を搭載し、上空に打ち上げ缶サットを放出し、缶サットが着地するまでにどのようなミッションをするか競い合います。私たちの缶サットを「プロペラ式垂直着地型減速装置」と名付けました。パラシュートの代わりにプロペラを用いて落下速度を抑制し垂直着地をすることをミッションとしました。どの出場校もとてもレベルが高くその技術力に圧倒されました。私たちは、その差を発想力でカバーし、他校とは違うユニークなミッションが評価されました。しかし、全国大会ではあまりいい結果は残せず悔しい思いをしたので、来年の缶サットチームに託したいと思います。

本年度紹介クラブ



- ① 部員数
- ② 活動日・時間
- ③ 活動内容
- ④ 顧問・主将の言葉(目標・抱負)

陸上競技部の紹介

① 1年 11名 2年 10名 3年 16名
合計 37名

② 週6日 3時間程度

③ 種目別の専門練習。近隣の施設、環境を利用して励んでいます。

④ 今年海南高校に赴任してきました。県総体男子総合3位など、素人も多いクラブですが、勉強と両立しながら着実に力をつけています。今後より一層活気のあるクラブ運営、海南高校生としての誇りを持つた生徒育成に励んでいきたいと思っています。(顧問 大上 聖)

水泳部の紹介

① 1年 1名 2年 3名 3年 3名
合計 7名

② 毎週火曜日・日曜日 2時間～2時間半

③ 夏場は学校のプールで練習しています。冬場は海南市民温水プールをお借りしています。1回2時間で6000m、8000m程度泳ぎます。距離が長くなるにつれて体力が無くなっていくので、基本自分との闘いですが選手同士で声を出し合って、1回の練習で出し切れるように高め合っています。また、現在2年生でジュニアオリンピックに出場している実力者もいます。

④ 一人一人が練習に集中し、個人が描く目標を達成できるように日々努力しています。また一人でも多く大会で良い成績を残せるように頑張っています。(主将 東 利佳)

教頭先生にインタビュー

志を高く、日々努力

亀井 真竜 教頭



志を高く、日々努力

生の頃は、中学は剣道部、高校ではスポーツは特にやってなくて、大学ではサークルでテニスをやっていました。

Q7 教師になろうと思った動機は何でしたか?

高校時代、ある先生のことか好きだったから、その教科を頑張らせて、勉強をしようという気持ちをおこさせてくれた。その先生は、人間としてこうあるべきだと、直接ではなく自分が足りないことを気づかせてくれたように思います。自分もそういう先生になれないかと。職業として教師というものを意識しました。教師になって子供達に日本の文化の素晴らしさなどを伝えてみたいと思いました。

Q8 教師以外の仕事をするとしたらどんな仕事をしてみたいですか?

大学時代、デザインとか美術、建築などにも興味があり、建築物の図面を見るのが好きでした。そういう関連の仕事を見つけていたかもしれません。

Q9 生徒に接する上で一番気を付けている事はありますか?

高校生ともなると自分で考えて成長してほしいというのがベースにあります。先生、生徒の立場があると思いますが、同じ目線で話をして、接したりしないといけないと思います。生徒の反応が本心に良かったらと思うんです。「海南の企業ってこんなにすごいんだ」とびっくりしてしまいたね。それぞれの講師の方の生き方に感動したという感想も多くありました。

Q10 本年度より新たに始まった「夢のかたち」講座は地元企業から直接話をうかがえる素晴らしい機会だと思えますが生徒達の反応はどうですか?

二つあります。一つは地元の産業、企業、技術、伝統を意外と知らない。それを改めて知ることが出来た。海南の家庭用品とかは日本全国で販売されていたり、工場も海外に置いたり、世界に誇る技術や企業があるんだと知れた。このあたりが海南にはあるんだと知れたというの大きいと思います。もう一点は、経営者の方、人間として、社会人として、生きていく中で大切にしなければいけないこと何かと、子供達に示してあげたいです。例えばチームで行動する大切さ、自分の生まれ育った地への郷土愛、人間は一人では助けてもらうから物事ができる。そんな経験を語ってあげる。そんな経験が語ってあげられるので、生き方、在り方を生徒が学んでくれる。和歌山県も人口減少が続く中で、なんとかして和歌山を元気にしていかなければいけない。子供達にとって

Q11 生徒達が社会へ巣立つためには何が最も必要だと思いますか?

先ほどの夢のかたちと重なってくるんですが、一人では限界があるじゃないですか。チームを作るとか、人と協働するということ、そのためには自分の考えを周りに発信する力、このあたりがあれば本当に活躍してくれると思います。

Q12 人生の先輩として海南高校生にアドバイスをお願いします

高校生活をどんな風に過ごすかという点、自分の反省も込めて、とにかく「まあいいか。これで」と簡単に満足したり妥協したりせずに、常に貪欲に、自分の目標も叶いそうところから、少しずつレベルアップしていくという点、目標を高めていってほしい。そのあたりは先生方も支援してくれると思うので妥協せずに常に自分を高めるように高校生活を過ごしてほしいです。

Q1 海南高校の印象はどうでしたか?

落ち着いてしっかりと学習やクラブ活動のできる環境だと思いました。生徒のみなさんは、とても吸収力があり、知識や様々な経験をしたいという意欲をもっているという印象です。教職員も生徒を大切に思っていて、声かけから始めて、指導や支援の仕方をよく考えてサポートしているなど思いました。

Q2 趣味は何でしょうか?

若い頃から庭が好きで、時間があれば家の庭の手入れとかをしています。

Q3 好きなスポーツは何でしょうか?

野球、テニス、サッカーとか観るのが好きです。学

Q4 座右の銘、好きな言葉は何でしょうか?

『初心忘れるべからず』です。自分がなかなか出来ていないから、常にその言葉を大切に思っています。ある狂言師の方が「世阿弥は生涯をかけて大輪の花を咲かせたかったです。最初と終わりに種を撒いたり苗を植えたりしても、植えっぱなしではだめで、その時々水をやったり、肥料をやったりして色んな工夫をして、はじめて最後に大きな花が咲くということなんだよ。常に学び続け、自分を高めていかなければと思います。

Q5 先生の専門教科と得意とする教科は何でしょうか?

私は、日本の美術史が専門です。教科は、地理歴史、公民なんですけども、日本史とか世界史の文化のところが好きです。

Q6 先生の高校生の時と今の高校生との大きな違いは何でしょうか?

高校生ともなると自分で考えて成長してほしいという

「夢へのスタートライン」



静波会会長 梅本 智美

静波会を代表いたしました一言ごあいさつをさせていただきます。

皆さん、ご卒業、おめでとうございます。また、保護者の皆様には、お子様が立派に成長され、卒業の日を迎えられたことお祝い申し上げます。

そして、校長先生はじめ先生方におかれましては、生徒たちをここまで温かくときに厳しく導いてくださったこと、保護者を代表して心よりお礼申し上げます。

さて、皆さんはこの海南高等学校で三年間学ばれ、社会で活躍するために必要な知識や技術を身につけて来られました。大学や専門学校へ進学を希望し、知識を高め、技術を磨くことを目指す方もいらっしゃるでしょう。また、社会に羽ばたく方もいらっしゃるでしょう。どの道を選ぶにせよ、皆さんは大人になる第一歩を踏み出すわけです。高校までは、保護者や周囲の大人が守ってくれる生活であり、それはときに不自由さを感じさせるものであったかもしれせん。しかし、これからは子供扱いはされません。自分の意思が尊重され、選択できる幅が広がる反面、責任もまた大きくなります。

私は、大人、社会人とは、自分自身に責任のとれる人だと考えています。若い皆さんがこれから生きていくうえで、さまざまな困難や悩みにつつかることもあるでしょう。どんな困難

に対しても、知恵を絞る行動を起こして乗り越えてほしいですし、また反対に、どうかあがいても達成されないと感じたのなら、軌道修正をしたり、引き返す勇気もときに必要となつてきます。どんな結果になつても、自分が決めたことだという自覚を持ち、決して人や環境のせいにはしないでほしいのです。こう言うのも何か自分でもやらなければならないと、気が重くなってしまうかもしれませんが、人間が一人でやれることは限界があります。周囲の人に協力を求めることもまた、選択肢の一つです。

今に至るまで、皆さんはたくさんの人たちと関係を築いてきたはずで、皆さんの成長を促し見守り続けてこられた保護者の方や、導いてくださった先生方、友情を築いてきた同級生や先輩後輩もそうですし、地域の方もそうでしょう。そういった方々に、健全な姿勢で頼ること、大人として求められてくるスキルです。もちろん、周りの方が困っていたら、自分の能力を最大限生かして、手をさしのべてください。

私は皆さんが自分の選択に責任を持つような自立した大人へと作りつつ社会で活躍するような人たちになつてほしいと願っています。

最後になりますが、卒業生の皆さん一人一人が輝かしい未来へ羽ばたいて行くことを願い、またそうなることを確信いたしました。私の挨拶といたします。ご卒業、おめでとうございます。

ご協力に感謝します

健全育成部

交通安全指導

鳥居 衣理

本年度、健全育成部として朝の登校時に交通安全指導を行いました。

私の担当した場所は、私自身車を運転して頻りに利用する道でしたが、歩行者や自転車の目線で見てみると、車を運転している時よりも遥かに交通量が多いと感じました。

ただ交通安全指導と言っても、学生のみならずは交通マナーも良く、挨拶をするために立ちに行つたという様なものがありました。挨拶をしてくれる子や



進路指導部

和歌山大学見学

山本 久美

七月十六日に和歌山大学のオープンキャンパスへ、奥野先生引率のもと大型バスに乗り参加しました。今年は猛暑日が続いても暑い日でしたが快適に参加できました。

到着すると何台もの大型バスが止まっており、海南高校と同じように学校が率先してオープンキャンパス参加を呼びかけ、たくさんの方々が保護者の方に関心を持ち来られていました。

校内に入ると、とても広く緑豊かで静かな環境でした。各学部ごとに自由に分かれ説明を聞く事が出来ました。実際どの様な事を勉強し、将来どの様に活かせるか。また、生徒さんがゼミなどで学んでいる事を、パネルや模型など



保健体育部

親睦球技大会

部長 高橋 綾子

九月三日、日曜日の朝にも関わらず、100人を超える多くの保護者の方に参加して頂き、ソフトボール大会とフットボール大会が行なわれました。

大会に先立ち、体育館でAED講習会も行なわれました。2名の消防隊員の方が来て下さり、人形とAEDを使って、わかりやすく説明してくれました。その後、保護者も数名心臓マッサージやAEDを体験しました。

講習会の後、お母様方はソフトボール、お父様方はグラウンドに移動し、ソフトボールをして頂きました。各地区で人数が揃わず、合同チームで初めて会う人同士でチームを組んでもらいましたが、とても和気あいあいとした感じで、応援している方も楽しめました。



女性部

女性部の模擬店

部長 吉田 好美

今回女性部の模擬店は、炊き込みご飯、みたらし団子、ポップコーンでした。

炊き込みご飯とみたらし団子は割と売れたのですが、ポップコーンは売れ行きがあまりよくありませんでした。しかし、皆の頑張りと、途中生徒が「映画のお供にいかかですか」と宣伝して助けくれたりして、無事売完できました。

女性部の皆様には朝から調理と、更に台風で天気が悪い中、販売と頑張って頂いたおかげで、無事売完して終わる事が出来ました。



海南警察署より感謝状

7月、海南高校が長年にわたり警察活動に協力したことに対し、海南警察署より感謝状を授かりました。



2年連続『県高P連会長賞』

昨年の「静波会だより」が第16回和歌山県高等学校PTA広報誌コンクールで2年連続『県高P連会長賞』を受賞し、近畿地区高等学校PTA連合会広報誌コンクールへ推薦されました。おめでとうございます。



防災スクール

11月14日(火)

1年生対象に「災害における列車からの迅速な避難」と題して、JR西日本和歌山支社安全推進部の方々にお話しいただきました。また、生徒代表が電車からの避難梯子を組み立てました。



人権講演会

11月20日(月)

シンガーソングライターの悠以(ゆい)氏による講演とコンサート「自分らしく生きる」が開催されました。



編集後記

今年も広報部は、海南高校の一年間の行事や、様子を取材しました。子ども達の学校生活をより近くで見られる機会を頂き、楽しい時間を過ごすことが出来ました。体育祭ではブロック対抗で全学年が一丸となり、さまざまな競技に取り組み、それぞれを応援する姿もとても感動しました。文化祭では一年生の劇、二年生の展示、三年生の模擬店、クラブの展示、発表など趣向を凝らし、協力し合い一つになり、素晴らしい作品を作り上げていました。あいにくの雨でしたが、多くの方々に見て頂くことが出来ました。一年間の編集にあたり、インタビュー、写真撮影、原稿などご協力下さった皆様、本当にありがとうございます。今後も海南高校の益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。最後になりましたが、役員の方、一年間ご協力いただきありがとうございます。 (広報部 一回)